

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(1)	選択・短答・記述式	5分	易・普通・難

みくさんの学校の5年生は、「総合(そうごう)的な学習の時間」に、「自分たちの住むところのよさをわかりやすく伝え合おう」という学習のめあてで、他の都道府県の5年生とオンライン交流で学習することになりました。みくさんの学級では、これまでの学習をふり振り返りながら、一人一人が「千葉県のよいところ」について、ふせんに書き出しました。下の【図】は、みくさんたちが書き出したふせんに仲間分けしているものです。

(1) みくさんたちは、ふせんに4つの仲間に分けています。次の①～④のふせんは、【図】のA～Dのどの仲間に入るか考え、最も当てはまる仲間を選びましょう。
※ 1つの仲間に2つ以上のふせんが入ってもかまいません。

【図】

<出題のねらい>

千葉県の特徴について出し合った多様な情報を整理するために、それぞれの資料の共通点を見だし、分類できるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「見いだす」既習の内容や方法を振り返る。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

学習の導入では、児童の主体的な話し合いを通して、学習の目的やテーマを明確にし、学習全体の見通しをもたせることが大切です。集めた情報や一人一人の考えを整理する過程を思考ツール等で視覚化するなどの工夫をすることで、話し合いがより活発になるでしょう。また、情報を分類・整理する際には共通点や違いに向けるなど、児童が自ら学習を進められる力を身に付けられるように指導していきましょう。

<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	◎ ①をA、②をD、③をA、④をBと解答している。	①A ②D ③A ④B
2	①をA、②をD、③をAと解答し、④をB以外と解答している。	①A ②D ③A ④B以外
3	①をA、②をD、④をBと解答し、③をA以外と解答している。	①A ②D ③A以外 ④B
4	①をA、③をA、④をBと解答し、②をD以外と解答している。	①A ②D以外 ③A ④B
5	②をD、③をA、④をBと解答し、①をA以外と解答している。	①A以外 ②D ③A ④B
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
それぞれの仲間の持ちようをとらえて、残っているふせんの分類が正しくできています。その調子で、これからもじょうほうを分類するときは、その持ちようをくらべて共通点やちがいをとらえることで、じょうほうを分類する力をさらにのばしていきましょう。
「びわ」や「らっかせい」から、Bの仲間が、果物や野菜(農業)に関係のある仲間であることに気づくことができると、④「なし」は「農業」が共通点となり、Bの仲間に入ることがわかります。分類するときは共通点やちがいに目を向けていきましょう。
「のり」や「漁かく量」、「地引きあみ」から、Aの仲間が、海や魚(水産業)に関係のある仲間であることに気づくことができると、③「さざえ・あわび」は「水産業」が共通点となり、Aの仲間に入ることがわかります。また、「あまさん」というキーワードに着目するのもよいでしょう。
「アクアライン(道路)」や「モノレール(鉄道)」から、Dの仲間が、交通に関係のある仲間であることに気づくことができると、②「なりた空港」は「交通」が共通点となり、Dの仲間に入ることがわかります。分類するときは共通点やちがいに目を向けていきましょう。
「のり」や「漁かく量」、「地引きあみ」から、Aの仲間が、海や魚(水産業)に関係のある仲間であることに気づくことができると、①「いわし」「漁かく量」の言葉から、Aの仲間に入ることがわかります。分類するときは共通点やちがいに目を向けていきましょう。
A～Dにすでに分類されているふせんをよく見て、共通点やちがいを発見していきましょう。①～④のふせんと、A～Dの仲間をくらべて、共通点を見つけることで、どの仲間に入るかがわかります。じょうほうを分類するときは共通点やちがいを発見していきましょう。
①～④ふせんをそれぞれの仲間に入れてみて、A～Dの仲間のふせんと共通点があるかどうか考えてみましょう。じょうほうを分類するときは共通点やちがいを発見していきましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(2) - ①	選択・短答・記述式	2分	易・普通・難

みくさんたちは、ふせんを仲間にまとめてから、千葉県の特ちょうについて話し合い、仲間に名前をつけることにしました。

【図】

A

のりの生産がさかん

みんなで協力!
くじゅうり
九十九里の地引きあみ

ちよつし
銚子漁港10年連続
漁かく量日本一

B

びわの生産がさかん

らっかせい
落花生の生産量
日本一

C

300年の歴史
れきし
佐原の大祭

日本三大うちわ
ぼんしょう
房州うちわ

D

海をわたる橋
アクアライン

世界最長*1の
千葉都市モノレール

*1 ぶら下がり型のモノレールとして世界最長

(2) - ① 下のみくさんの言葉の【 ① 】に入る最もふさわしい言葉を、【名前】の中のア～オから1つ選びましょう。

みくさん

特ちょうがはっきりするように、それぞれに名前をつけてみよう。
Aは、【 ① 】がいいと思う。

【名前】 ア 伝とう イ 交通 ウ 水産業 エ 観光業 オ 海岸

<解答らん> ①:

<出題のねらい>

整理した情報の特徴を明確にするために、それぞれのグループの共通点を適切な言葉で表すことができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「見いだす」 疑問をもつ。課題を明確にする。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

分類した情報の共通点を短い言葉で表す活動は、情報の特徴を明確にするためにとても有効です。他教科においても、筆者の考えや文章から読み取ったことを、学習の目的に合わせて、短い言葉でまとめることで、要点や大切なポイントを押さえることができます。そのためには、キーワードに注目させたり、自分の言葉でラベリングしたりするなどの活動を工夫するとよいでしょう。

<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	ア「伝とう」と解答しているもの。	ア
2	イ「交通」と解答しているもの。	イ
3	◎ ウ「水産業」と解答しているもの。	ウ
4	エ「観光業」と解答しているもの。	エ
5	オ「海岸」と解答しているもの。	オ
0	無解答	—

個票への記述
Aの仲間について、「海」「産業」というキーワードで見るとよいでしょう。特ちょうを表す名前をつけるときは、一つ一つを見るだけでなく、仲間全体を見て共通するキーワードを考えるとよいでしょう。
Aの仲間について、「海」「産業」というキーワードで見るとよいでしょう。特ちょうを表す名前をつけるときは、一つ一つを見るだけでなく、仲間全体を見て共通するキーワードを考えるとよいでしょう。
ふせんの分類について、仲間ごとの共通点をとらえ、てき切な言葉で表すことができている。
Aの仲間について、「海」「産業」というキーワードで見るとよいでしょう。特ちょうを表す名前をつけるときは、一つ一つを見るだけでなく、仲間全体を見て共通するキーワードを考えるとよいでしょう。
Aの仲間について、「海」「産業」というキーワードで見るとよいでしょう。特ちょうを表す名前をつけるときは、一つ一つを見るだけでなく、仲間全体を見て共通するキーワードを考えるとよいでしょう。
ふせんの共通点を言葉で表すために、特ちょうを書き出してみよう。その中から、ぴったりと合うものを見つけていくとよいでしょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(2) - ②	選択 短答 記述式	2分	易 普通 難

みくさんたちは、ふせんを仲間にまとめてから、千葉県の特ちょうについて話し合い、仲間に名前をつけることにしました。

【図】

A

のりの生産がさかん

みんなで協力!
くじゅうくりに
九十九里の地引きあみ

ちょうし
銚子漁港10年連続
漁かく量日本一

B

びわの生産がさかん

らっかせい
落花生の生産量
日本一

C

れきし
300年の歴史
まきわら
佐原の大祭

日本三大うちわ
ぼしゅう
房州うちわ

D

海をわたる橋
アクアライン

世界最長※1の
千葉都市モノレール

※1 ぶら下がり型のモノレールとして世界最長

(2) - ② 次のけんさんの言葉の【 ② 】にふさわしい言葉を漢字二字で答えましょう。

Bは【 ② 】にしよう。
仲間に分けて名前をつけることで、千葉県のよさがはっきりするね。
CとDはどうなるかな。

けんさん

<解答らん> ② :

<出題のねらい>

整理した情報の特徴を明確にするために、それぞれのグループの共通点を適切な言葉で表すことができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「見いだす」 疑問をもつ。課題を明確にする。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

分類した情報の共通点を短い言葉で表す活動は、情報の特徴を明確にするためにとっても有効です。他教科においても、筆者の考えや文章から読み取ったことを、学習の目的に合わせて、短い言葉でまとめることで、要点や大切なポイントを押さえることができます。そのためには、キーワードに注目させたり、自分の言葉でラベリングしたりするなどの活動を工夫するとよいでしょう。

<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件		解答例
1	◎	「農業」または「作物」と解答している	農業 (または「作物」)
2		「農業」または「作物」と同義だが、表記の間違ひがある	「濃業」「作物」など
9		上記以外の解答	
0		無解答	—

個票への記述	
1	分類したふせんについて、共通点をとらえ、Bの仲間の特ちょうをてき切な言葉で表すことができている。タイピングも正しく入力できました。
2	分類したふせんについて、共通点をとらえ、Bの仲間の特ちょうを表す言葉を見つけることができましたが、漢字をまちがえていました。正しい漢字で入力するように気を付けましょう。
9	Bの仲間のふせんの共通点を考え、言葉で表してみましよう。どちらのふせんにも共通する言葉を見つけるには、特ちょうを表す言葉を考えることが大切です。
0	分類した仲間について共通点を言葉で表すことは、特ちょうを明らかにするために大切です。ふせん全体をよく見て、共通することをメモで書き出すなどの練習をするとよいでしょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(3) ①	選択・短答・記述式	3分	易・普通・難

みくさんのグループは、北海道の5年生と「自分たちの住むところとれる魚を使った、いろいろな魚料理を伝え合おう」というテーマで交流することに決まり、いろいろな資料(しりょう)を集めました。グループのテーマに合わせて、より詳しく調べるために、みくさんとなおさんは集めた資料の中から必要なものを選びました。

【資料】

(ア) 令和元年の千葉県魚の種別別漁獲量(わり合)

(イ) 北海道の魚の種別別生産量(わり合)

(ウ) スーパーマーケットの広告
安くておいしい! 房総(ぼうそう)半魚産のいわしで作った『いわしのごまづけ』1パック298円!

(エ) 給食センターの方のお話
「昨日の給食の『さんが焼き』は、千葉県の海でとれたあじを使いました。あじは栄養のある魚ですよ。」

(オ) 同じ学級の友達
「昨日、家で『いわしのつみれじる』を作ったよ。かんたんに作れて、おいしかったな。千葉県産のいわしだったよ。」

(カ) 地元の漁師(りょうし)さん
「今年は、さばのねだんが高くなるよ。売れなくなったらこまるなあ。」

(3)-①
みくさんは、どの資料を使うとよいですか。下のみくさんの言葉をもとに、左の【資料】の(ア)～(キ)の中からふさわしいものを1つ選びましょう。

みくさん
「千葉県でどのような魚が多くとれるか」について調べることは必要だと思う。

<解答らん>

(ア) (イ) (ウ) (エ)
 (オ) (カ) (キ)

<出題のねらい>

複数の資料を関連付け、内容を把握し、学習のめあてとグループで調べたいことに応じた、適切な資料を選択できるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」解決の見通しをもつ。情報を収集し調べる。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 **情報活用能力** 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

調べ学習の際に、必要な情報を選び出すには、まず、学習のめあてやテーマを基に調べたいことを明確にすることが大切です。そして、集めた情報がどのようなことを伝えているのかということに注意して内容を正確に読み取らせましょう。何を示す資料かよく確認し、調べたいことに必要かという視点で考えることで根拠をもって情報を取捨選択する力が付いてきます。

<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	◎ 千葉県の魚種別水揚げ量を示す資料であり、みくさんの「千葉県でどのような魚が多くとれるか」という考えに適切な資料として選んでいる。	(ア)
2	(イ) は北海道の魚種別水揚げ量を示す資料であり、みくさんの調べたい「千葉県」の資料としてふさわしくない。	(イ)
3	千葉県を話題にした資料であるが、魚料理についての内容であり、「どんな魚が多くとれるか」を調べたいみくさんの考えには合わない。	(ウ)、(エ)、(オ)のいずれか
4	千葉県で多くとれる魚の話題ではあるが、魚の値段の話であり、みくさんの調べたい内容に合っていない。	(カ)
5	北海道の魚料理に関する内容であり、北海道の児童が調べる内容であるため、みくさんの調べたい内容に合っていない。	(キ)
0	無解答	—

個票への記述
調べ学習を進めていくためにどのようなじょうほうが必要かをわかっており、ふく数のし料の中から適切なじょうほうを選ぶことができます。
調べたい内ようについて「どのような魚が多くとれるか」に着目してし料を選ぼうとしていますが、「どこでとれる魚か」という見方ができていませんでした。し料を選ぶときは、調べたい内ようにふさわしいかよくたしかめ、てきちなし料を選ぶようにしましょう。
「千葉県の魚」に関するし料を選ぼうとしていますが、調べたい内ようである「どんな魚が多くとれるか」には合わないし料を選んでいました。し料を選ぶときは、調べたい内ようにふさわしいかよくたしかめ、てきちなし料を選ぶようにしましょう。
「千葉県で多くとれる魚」についての話ですが、1種類の魚のねだんについての話であり、「どのような魚が多くとれるか」というみくさんの調べたいことに合っていない。し料を選ぶときは、調べたい内ようにふさわしいかどうかよくたしかめてから選ぶようにしましょう。
(キ) は、北海道の魚料理に関するし料であり、「千葉県ではどのような魚が多くとれるか」というみくさんの調べたい内ように合いません。し料を選ぶときは、調べたい内ようにふさわしいかどうかよくたしかめてから選ぶようにしましょう。
まずは、調べたいことは何かをはっきりさせましょう。そして集めたし料の内ようとよくくらべて、調べたいことにふさわしいかどうかたしかめ、必要なし料を選びましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(3)②	選択・短答・記述式	3分	易・普通・難

みくさんのグループは、北海道の5年生と「自分たちの住むととれる魚を使った、いろいろな魚料理を伝え合おう」というテーマで交流することに決まり、いろいろな資料(しりょう)を集めました。グループのテーマに合わせて、よりくわしく調べるために、みくさんとなおさんは集めた資料の中から必要なものを選びました。

【資料】

(ア) 令和元年の千葉県魚の種類別漁獲量(わり合)

(ウ) スーパーマーケットの広告

安くておいしい! 房総(ぼうそう)半島産のいわしで作った「いわしのごまづけ」1パック298円!

(3)-②

なおさんは、どの資料を使うとよいですか。下のなおさんの言葉をもとに、左の【資料】の(ア)～(キ)の中からふさわしいものを3つ選びましょう。

(エ) 給食センターの方のお話

「昨日の給食の『さんが焼き』は、千葉県の海でとれたあじを使いました。あじは栄養のある魚ですよ。」

(オ) 同じ学級の友達

「昨日、家で『いわしのつみれじる』を作ったよ。かんたんに作れて、おいしかったな。千葉県産のいわしだったよ。」

(カ) 地元の漁師(りょうし)さん

「今年は、さばのねだんが高くなるよ。売れなくなったらこまるなあ。」

なおさん

「ぼくは、「千葉県でとれた魚を使った料理」や「千葉県の魚料理のよさ」について調べて伝えたいな。」

<解答らん>

(ア) (イ) (ウ) (エ)

(オ) (カ) (キ)

(イ) 北海道の魚の種類別生産量(わり合)

<出題のねらい>

複数の資料を関連付け、内容を把握し、学習のめあてとグループで調べたいことに応じた、適切な資料を選択できるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「自分で取り組む」解決の見通しをもつ。情報を収集し調べる。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

調べ学習の際に、必要な情報を選び出すには、まず、学習のめあてやテーマを基に調べたいことを明確にすることが大切です。そして、集めた情報がどのようなことを伝えているのかということに注意して内容を正確に読み取らせましょう。何を示す資料がよく確認し、調べたいことに必要かという視点で考えることで根拠をもって情報を取捨選択する力が付いてきます。

<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	◎ 千葉県の魚料理のよさや、どのような魚料理があるかを示す資料であり、ともさんの考えに適切な資料である。(全て正答を選択している)	(ウ) (エ) (オ)
2	千葉県の魚料理のよさや、どのような魚料理があるかを示す資料を選択しているが不足があり、必要な資料を見落としている。(正答を選択しているが、不足している)	(ウ)、(エ)、(オ)のいずれか1つまたは2つ
3	千葉県の魚料理のよさや、どのような魚料理があるかを示す資料を選択しているが、必要のない資料も選択している。	正答の(ウ) (エ) (オ) と、誤答の(ア) (イ)、(カ) (キ) の組み合わせ
4	調べたい内容にふさわしい資料ではない資料を選択している。	(ア) (イ) (カ) (キ) のすべてまたはいずれか
0	無解答	—

個票への記述
調べ学習を進めていくためにどのようなじょうほうが必要かがわかっており、ふく数のじょうほうの中からき切なし料を選ぶことができます。
調べたい内ようについて「千葉県でとれた魚料理」と「千葉県の魚料理のよさ」に着目してし料を選ぼうとしていますが、選んだし料が不足していました。全てのし料を注意深く読み取り、必要なし料を落とさずに選べるようにしましょう。
調べたい内ように対してき切なし料を選ぶことができますが、必要のないし料も選んでいるため、全てのし料を注意深く読み取り、調べたい内ようにふさわしいかよくたしかめて選ぶことができるようにしましょう。
まずは、調べたいことは何かをはっきりさせましょう。そして集めたし料の内ようをよくくらべて、調べたいことにふさわしいかどうかたしかめて、必要なし料を選びましょう。
まずは、調べたいことは何かをはっきりさせましょう。そして集めたし料の内ようをよくくらべて、調べたいことにふさわしいかどうかたしかめて、必要なし料を選びましょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(4)	選択 短答 記述式	8分	易・普通 難

(4) みくさんのグループは、けんさんのアドバイスをもとに、千葉県の種類別漁かく量にある「まあじ」についてのクイズを作り、北海道の5年生に千葉県でとれる魚のことを楽しく、わかりやすく伝えようと考えました。下の【クイズ】の文章を読んで、空らんにはまる数字を答えましょう。

【資料】

(ア) 令和元年の千葉県の魚の種類別漁かく量(わり合)

全体の量(重さ) **111213 t**

「グラフで見るわたしたちの千葉県」(令和3年3月) 千葉県総合(そごう)企画(きかく)部統計(とうけい)課をもとに作成

【クイズ】

左の【資料】(ア)をもとにすると、千葉県で令和元年にとれた「まあじ」の全体の重さはおよそ2670 tでした。「まあじ」の1ぴきあたりの重さを150 gとして計算すると、令和元年に千葉県でとれた「まあじ」の数はおよそ何ぴきになるでしょう。

【答え】は、
 およそ ぴきね。
 数で表すと、とてもたくさんとれたことがより伝わるね。

みくさん

<出題のねらい>

算数の知識・技能を基にクイズを作る場面で、重さの単位の変換 (t → g) や単位量あたりの数を求めることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」 友達と互いに学び合う

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 **情報活用能力** **問題発見・解決能力**

<授業改善の視点>

数値を見るだけでは量感を伴った理解にならないことがあります。児童が実感をもって数や量を理解できる工夫が必要です。全体の量を一単位あたりで捉えさせるなど、児童の実態や興味・関心に応じてよりデータの理解を深める工夫をしてみましよう。また、単位の変換やわり算の計算など、生活の場面の中で考えることができるように、実態に応じた手立てをしていきたいと思います。

<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	◎ t (トン) → g (グラム) の変換を正しく行い、全体の重さ÷1ぴきあたりの重さの計算で「まあじ」の数を正しく求めている。	17800000 1780万 1780まん
2	全体の重さ÷1ぴきあたりの重さの計算はできているが、t (トン) → g (グラム) の変換を正しくできていない。(「178」以下の0の数が間違っている。)	178000000 178万 17800 など
3	下5桁が「00000」であるため、t (トン) → g (グラム) の変換を正しく行ったが、「178」の部分の数値が間違っている。	15800000 1760万 など
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
t (トン) → g (グラム) へ重さの単位を変えて表すことが正しくできています。また、「全体の重さ÷1ぴきあたりの重さ」の式も正しく立てることができ、まあじの全体の数を正しく求めることができました。
「全体の重さ÷1ぴきあたりの重さ=全体の数」の計算が正しくできています。t (トン) → g (グラム) へ重さの単位を変えて表すことが正しくできるようになりました。
t (トン) → g (グラム) へ重さの単位を変えて表すことが正しくできています。「全体の重さ÷1ぴきあたりの重さ」のわり算の計算でミスをしていると思われるので、答えが正しいかたしかめる計算(わる数×商=わられる数)をするなど、正しくわり算をする力を身に付けましよう。
「全体の重さ÷1ぴきあたりの重さ」で「全体の数」が求められます。同じような問題をといて、正しく計算できるようにしましよう。また、t (トン)、kg (キログラム)、g (グラム) といった重さを表す単位とその関係を正しく理かいていしましよう。
「全体の重さ÷1ぴきあたりの重さ」で「全体の数」が求められます。問題の文章からわかっていることと聞かれていることに印をし、式を立ててみましよう。また、t (トン)、kg (キログラム)、g (グラム) など重さを表す単位とその関係を正しく理かいていしましよう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(5)	選択・短答・ 記述式	10分	易・普通・ 難

(5) 魚料理の内容をわかりやすく伝えるために、みくさんたちは、「あじのなめろうの作り方」の動画を3と4のスライドの欄に入れることにしました。さらに、その動画に説明の文を付け、動画の後に【材料】のメモも入れることにしました。次の動画を見て、動画の内容に合わせて、作り方を説明する文を書きましょう。書くときは、下の【条件(じょうけん)】ア～ウをふまえて<解答らん>に書きましょう。

<再生方法> 画面の再生ボタンをクリックまたはタップすると、動画が流れます。動画は何度でも再生できます。音声は流れません。

あじのなめろうの作り方



【材料】()内は分量

- ・あじの身 (2ひき分)
- ・みそ (大きじ1)
- ※しょうが (大きじ2)
- ※長ねぎ (1/4本)
- ※しそ (2枚)

※の材料は、細かく切っておく。

【説明】

- あじの身を包丁で細かくたたきます。
- みそと、
- さらに包丁でたたきながらしっかり混ぜます。最後に、形を整えて、お皿にもりつけます。

【条件】

ア【説明】の②の部分で25字以上、40字以内で「みそと、」に続けて書くこと。
 イ 動画の右の【材料】を参考に書くこと。
 ウ【材料】の分量は入れなくてよい。

<解答らん>
みそと、

<出題のねらい>

動画と紙媒体など複数の資料を関連付け、必要な言葉を用いて、条件に合わせて伝えたい内容を正確に記述できるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

「広げ深める」 自分の考えを伝える。

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

文章だけでなく、映像など非言語の情報からも必要な情報を選び、適切な表現を選んで文章にする学習活動を取り入れていきましょう。自分の考えを伝えるために、相手意識や目的意識を明確にし、適切な言葉を選んだり、正しくわかりやすく文章を組み立てて書く力は、どの教科でも求められる大切な力です。

<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件 (想定される児童の思考)	解答例
1	◎ 条件①②③を満たして解答しているもの 正答の条件と判断基準 ①：加える材料について適切な説明を書いている。 加える材料の全ての名前を過不足なく書いている。 「みそ」以外の材料が細かくなっていることがわかるように書いている。 ②：作業内容について適切な説明を書いている。 料理の工程として「混ぜる」ことを書いている。 ③：25字以上40字以内で書いている。	細かくきざんだしょうがとねぎとしそを用意し、あじの身と混ぜます。(32字)
2	○ 条件①②を満たし、③を満たさないで書いているもの	細かくしたしょうがとねぎとしそをあじと混ぜます。(24字)
3	条件①③を満たし、②を満たさないで書いているもの	細かくきざんだしょうがとねぎとしそをあじを使います。(26字)
4	条件②③を満たし、①を満たさないで書いているもの	しょうがとねぎとしそを用意し、あじの身と混ぜます。(25字)
9	上記以外の解答	
0	無解答	—

個票への記述
動画と材料のメモの内ようを関連付け、必要なじょうほうをてき切な言葉で表現し、料理の作り方を文章化することができています。文字数などのじょうけんを守って書くこともできています。
動画と材料のメモの内ようを関連付け、必要なじょうほうをてき切な言葉で表現し、料理の作り方を文章化することができています。文字数のじょうけんがあるので、気を付けて見直しをしましょう。
動画と材料のメモの内ようを関連付け、材料についてのじょうほうをてき切な言葉で表現できました。文字数のじょうけんも正しく守っています。料理の作り方をよくたしかめて、具体的な言葉を使うと、よりわかりやすい表現になります。
動画と材料のメモの内ようを関連付け、料理の作り方についてのじょうほうをてき切な言葉で表現できました。文字数のじょうけんも正しく守っていますが、材料についてのじょうほうが不足していました。相手に正しく伝えるため、必要なことを落とさないか気を付けましょう。
動画と材料のメモの内ようをよく見て、必要なじょうほうや大事な言葉をメモに書き出してみましよう。メモをもとに文章を組み立て、動画やメモとくらべることで、正しく伝える文章になっているかかくにんするとよいでしょう。
動画と材料のメモの内ようをよく見て、必要なじょうほうや大事な言葉をメモに書き出してみましよう。メモをもとに文章を組み立て、動画やメモとくらべることで、正しく伝える文章になっているかかくにんするとよいでしょう。

学年	小問番号	解答形式	想定解答時間	難易度
5年	(6)	選択・短答・記述式	8分	易・普通・難
<p>みくさんたちのグループは、オンライン発表会を通じて、北海道の学校の5年生と「自分たちの住むところとれる魚を使った、いろいろな魚料理」を伝え合うことができました。発表会後に、自分たちの学習を振り返るために、気づいたことや感想をノートに書きました。その後で、みくさんたちの学級は、学習を振り返ってノートに書いたことを一人一人短くまとめ、学級全体の振り返りシートにまとめることにしました。</p> <p>(6) 下の【みくさんのノート】の内容を、学習のめあて「自分の県のよさをわかりやすく伝え合おう」にそってまとめたものとして、最もふさわしいものを、下の【学習のめあてにそってまとめたもの】のA～Eのうちから1つ選びましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【みくさんのノート】</p> <p>北海道の5年生とのオンラインの交流は、とても楽しかったです。交流した北海道の学校が、とてもきれいでびっくりしました。発表を聞いて、北海道も水産業がたいへんさかんで、いろいろな魚料理があることがわかりました。説明にあった「ニシンそば」がおいしそうで、どんな味なのか、作って食べてみたいと思いました。</p> <p>わたしは、この学習を通して、北海道だけでなく、千葉県の良いところをもっとくわしく知ることができました。千葉県でこんなに多くの魚がとれることや、それらの魚を使ったいろいろな料理があり、千葉県の人たちに親しまれていることを知りました。自分たちの住む地いきのよさを知り、うれしくなりました。</p> <p>それから、スライドで伝えたこともおもしろかったです。スライドでは、写真がきれいだし、動画もつけてわかりやすく伝えるよさがあるとわかりました。</p> <p>これからも千葉県や、それ以外の都道府県の良いところをたくさんさがして、くわしく知りたいです。そして、交流で伝え合えたらよいと思います。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【学習のめあてにそってまとめたもの】</p> <p>○ア 交流を通して、北海道と千葉県、両方のよさを知ることができた。工夫された様々な魚料理があり、地いきの人々に親しまれているとわかった。スライドのわかりやすい伝え方も学んだ。</p> <p>○イ 北海道は、水産業がとてもさかんだとわかった。また、北海道にもたくさん魚料理があることがわかった。説明を聞いて、作り方もわかったので、自分で作って食べてみたいと思った。</p> <p>○ウ 千葉県は、よいところがたくさんあるとわかった。おいしい魚料理だけでなく、アクアラインや有名なお祭りがあったと楽しかった。今度は、うちわを作りたいと思った。</p> <p>○エ 北海道の学校とオンラインで交流できて、とても楽しかった。これからもオンラインで交流をしたいと思った。北海道の5年生と友達になれたので、今度は他の県の5年生と友達になりたい。</p> </div> </div>				

<出題のねらい>

学習のめあてに沿った振り返りの視点を持ち、単元全体の学習活動を通して身に付けた力を考えることができるかどうかをみる。

<『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』との関連>

『まとめあげる』学んだことをまとめる 思考の過程を振り返る

<学習の基盤となる資質・能力> 学習指導要領総則より

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力

<授業改善の視点>

児童が身に付ける力を明確にし、主体的に学習に取り組めるように、見通しをもって単元の内容を検討し、学習計画を立てましょう。「見いだす」場面で学習の見通しをもたせ、めあてを明確にしておくことで、児童は自ら学習を進めることができるようになります。「まとめあげる」場面では、めあてに沿って学習を振り返らせることが大切です。自身の学びや変容について、「身に付けたい力」という視点で、児童が的確に自身の学びを自覚することができます。

<解答類型と分析>

解答類型	類型を判断する条件	解答例
1	◎ 学習のめあてに沿って、振り返ることができている。北海道の学校との交流を通してわかった北海道や千葉県のよさ、効果的な発表の仕方についてわかったことをまとめている	ア
2	北海道のことだけを述べていて、千葉県について理解したことや効果的な発表の仕方について学んだことにふれていないため、学習のめあてに沿っているといえない。	イ
3	学習のはじめのときの感想になっており、内容がノートと異なる。学習のめあてに沿って全体を振り返ることができていない。	ウ
4	交流が楽しかったという感想だけで、学習のめあてについてふれていない。学習の目的や身に付いた力を意識した内容になっていない。	エ
0	無解答	—

個票への記述
文章の中から目的にそって大切なことを読み取り、要約する力が身に付いており、「めあてにそって学習を振り返る」ことができました。これからも、「まとめあげる」場面では、自分に身に付いた力をたしかめるために、学習のめあてにそって「振り返り」の活動を大切にして学習をしていきましょう。
「振り返り」は、自分に身に付いた力をたしかめるため、学習のめあてにそって、学習を通してわかったことやできたことをまとめることが大切です。学習の目的や活動内ようをよく思い出し、めあてにそって学んだことをまとめるとよいでしょう。
「振り返り」は、学習のめあてにそって、学習全体を通してわかったことやできたことをまとめることが大切です。振り返りが学習全体を通したものになっているか、学習のめあてや全体の活動内ようにそってたしかめるとよいでしょう。
「振り返り」は、学習のめあてにそって、学習全体を通してわかったことやできたことをまとめることが大切です。こ人の自由な感想ではなく、学習のめあてにそって振り返ることができるようにしましょう。何をどのように学んだかをしっかりと振り返ることで、身に付いた力を自分でたしかめることができます。
「振り返り」は、学習のめあてにそって、自分に身に付いた力をたしかめることが大切です。学習のめあてや活動内ようを書き出すなどして振り返り、わかったことやできたことなどの身に付いた力をたしかめましょう。